

ミニミニマインズ ~博物館だより~

平成21年8月12日 第172号

前期企画展・講演会のお知らせ

平成21年度前期企画展「知ってる!? “ジオパーク” —日本と秋田の地質・産業遺産に行ってみよう—」が7月25日(土)から始まりました。開催に先駆けて前日の前披露では西川専任講師が展示解説を行いました。8月29日(土)には市民向け講演会を下記のとおり行いますので皆様お誘い合わせの上、ぜひお越しください。

○市民向け講演会

日時：8月29日(土) 13:30~14:30

場所：鉱業博物館3階講堂

講師：渡辺 真人 氏 (産業技術総合研究所 地質情報研究部門)

演題：「ジオパークを楽しもう！」

その他：申し込み不要。当日は聴講・入館ともに無料です。



↑西川専任講師(右から二人目)から説明を受ける西田工学資源学部長(右端)

ジュニアサイエンススクール



ジュニアサイエンススクールが8月6日(木)~7日(金)に開催されました。当日の様子を3名の博物館実習生からレポートしてもらいました。



↑はぎとり作業風景(安田海岸)



↑露頭スケッチをする子どもたち



↑はぎとり標本の作製の様子(講堂)

8月6日(木)~7日(金)、毎年恒例のジュニアサイエンススクールが開催されました。今年は「地層の観察とはぎとり標本の作製」というテーマで小学生14名と中学生1名が実地学習や標本作りに取り組みました。スクールには教育文化学部の博物館実習生7名もスタッフとして参加しました。実習生の視点からスクールの内容と参加した感想をレポートしたいと思います。

1日目は男鹿半島安田海岸で地層のスケッチとはぎとりの実地実習、2日目は博物館にてはぎとり標本の作製を行いました。子供たちの世話役として、安全確保に務めたりはぎとり方法を教えたりしながら、私たち実習生自身も一緒に楽しむことができました。今回行ったはぎとりとは、地層にシートを敷きその表面に接着剤を塗って乾かし、完全に乾いた後にゆっくりとシートを剥がしていくと、シート全体にまるで地層がコピーされたかのように露頭面に現れた地層の構造や含まれている化石などが取れてくるということです。初めての作業に子供たちも興味津々の様子で取り組んでいました。

小さなことにも疑問や興味を持ち、積極的に行動していく中で多くの発見をしていく子どもたちから私達自身も学ぶことがたくさんありました。子供たちの元気なパワーに圧倒される場面も多々ありましたが、貴重な体験をすることができ、参加して本当によかったと思います。

(博物館実習生 木元温子・渡辺麻友・野村麻子)